

はじめに

新入生のみなさん、御入学おめでとうございます。みなさんの中には、大学生活への期待とともに「大学と高校までの学習はどう変わるのだろう」と不安を感じている方もいると思います。みなさんの充実した大学生活を支援するため、琉球大学附属図書館では、「琉大生のための情報リテラシーガイドブック」を作成しました。

タイトル中の「情報リテラシー (information literacy)」は、アメリカ図書館協会の1989年の報告書によりますと「情報が必要なときそれを認識し、必要な情報を効果的に見つけ、評価し、利用する能力」と定義されています。パソコンを操作する能力(コンピューターリテラシー)のみをイメージする方もいるかもしれませんが、本来は、自分が必要としている情報が何なのか理解する、必要な情報を効率的に収集する、集めた情報をきちんと管理する、情報の内容を批判的に評価・選別する、それらの情報と自分の知見を組み合わせ新たな情報を生み出して発信する、という情報に関わるあらゆるプロセスで必要となる能力です。玉石混交の膨大な情報が飛び交う現代において、これから学術研究の場へ一歩を踏み出すみなさんにとっては必須の能力であり、いずれ社会に出た際にも不可欠となるものです。是非本書を通じて「情報リテラシー」を身につけてください。

本書は、レポート作成の流れを想定した構成となっています。まず1章「レポートを書くためにー人文科学・社会科学分野からー」でレポート作成の過程でどのようにアイデアをまとめるか説明しています。続いて、2章「資料・情報の収集ー琉大の図書館を使うー」で、図書館を活用したさまざまな情報の収集方法について、3章「レポートを書くときの注意点ー著作権と引用ー」で、収集した情報を適切に利用するにはどのようなことに注意する必要があるのか説明しています。最後に、情報の収集・発信に関わることとして、4章「情報の収集・発信にあたってー琉大の情報基盤を使うー」で、学内のパソコンやインターネット環境の具体的な利用方法を説明しています。大学生活のさまざまな場面で利用できる内容となっていますので、「琉大生のための情報リテラシーガイドブック」を是非活用してください。

附属図書館